

□には、リンクがあります。 □は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム げんき
日付	平成18年2月28日
評価機関名	有限会社 アウルメディカルサービス ■評価調査員：薬剤師・介護支援専門員 介護経験歴6年
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る（改善状況のコメントがあります！）	

外部評価の結果

概評
全体を通して（特に良いと思われる点など）（記述式） 職員は昨年と同様ほとんど一緒なので入居者も安心のようです。よく熟知しているので、入居者が集団で楽しく過ごせ、移動のときはできない所を職員が見守り介助して、のんびりと生活がおくれるようにケアされています。 グループホーム内はできるだけ車椅子を使わないようにし、少しでも自力で歩いてもらっています。職員は入居者を自分の家族と思い接しているようにみえました。家族との連絡もしっかり取れていますので、面会にも良く来てくれます。職員間の連携も良く取れ、何かあればすぐに駆けつけてくれます。入居者も職員も地元の人であり、情報提供もし易い環境になっています。 経営者は今年から水田を借り、グループホーム内の食事には自前の米を提供しています。少しでも入居者の方に喜んでもらおうという姿勢のように感じました。
改善の余地があると思われる点（記述式） 昨年に比べて、年とともに体力が落ち自分の事もなかなかできず、全介助の入居者が増えています。職員の方はがんばっていますが、なかなか身体機能の維持は難しいようです。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目 記述回答	グループホームとしてめざしているものは何か（記述式で回答） 「やすらぎと安心 げんきな笑顔」を理念に掲げ、職員は常に、入居者を自分の家族に置き換えて、それぞれに合った介助方法を見つけ出そうと日々介護に取り組んでいます。入居者に対して、やさしさだけでなく、時には心を鬼にすることで、入居者の生活をより家庭の生活へ近づけるように試みています。 入居者のレベルが年とともに下がってくる傾向を家族に協力を求めながら、最後まで出来るだけ続ける姿勢の理念に沿った介護を目指しています。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居居の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目 記述回答	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か（記述式で回答） 趣味がある人は、その趣味を。趣味のない方には、話あいてになってストレスがたまらないように努めています。入居者の性格を職員はよく理解しているので、興奮しないように心がけ、声かけも注意しています。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画へ入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏かな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	ブライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目 記述回答	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か（記述式で回答） 編み物、スケッチ、塗り絵、パズル、掛け算、書き取りなど個々に対応しています。職員の言葉かけから、興味がわいてくるような雰囲気作りに勤めています。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
33	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
34	地域との連携と交流促進	○	
35	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目 記述回答	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 入居者の機能低下を防ぐように心がけています。施設内では、車イスをできるだけ使用しないようにしています。転倒の可能性もあるので付き添い、見守りを十分に行っています。また、入居者個々の機能にあった対策を常に考えて提供しています。入居者の家族ともよく連絡が取れていて、面会にもよく来てくれます。信頼関係を築くことで、何かあれば協力して頂くように日頃から努めています。		